

第1回 宇和島市立伊達博物館建替委員会 会議録

- 日 時 平成31年3月20日(水) 9:30～11:30
- 場 所 宇和島市役所801会議室
- 出席者 [宇和島市立伊達博物館建替委員会委員(順不同、敬称略)]
岡原文彰、玉田光彦、金瀬聡、山田芳人、清家康生、中平政志
伊達宗信、二宮信彦、廣瀬孝子、木村宗慎、本田耕一、永田幸子
藤堂真二、二宮一之、田中広興
[事務局]
文化・スポーツ課(課長、課長補佐2名)
伊達博物館(館長、係長)
- 欠席者 [宇和島市立伊達博物館建替委員会委員(順不同、敬称略)]
日前賢一郎、三好めぐみ
- 議 事 (1) 報告・説明事項
 - ①伊達博物館の現状について
 - ②伊達博物館の建て替えについて
 - ③スケジュールについて(2) 協議事項
 - ①基本構想(事務局案)について
 - ②専門部会の設置について
 - ③専門部会長の指名について

次 第

- 1 開会
- 2 委員紹介
- 3 委嘱状交付
- 4 委員長、副委員長選出
- 5 議事
- 6 閉会

■会議の記録

- | | |
|--------------------|---|
| 1 開 会 | (事務局による司会進行) |
| 教育長 | (教育長挨拶)
・ 検討準備により、素晴らしい博物館を検討できる委員が選出できた。貴重なご意見をお聞かせ願いたい。 |
| 市長 | (市長挨拶)
・ 伊達博物館は昭和49年の開館以来、地域の文化振興や観光に力を発揮してきた。
・ 修理に次ぐ修理ではなく、しっかりしたものを造っていくために議論していきたい。 |
| 2 委員紹介 | (事務局による紹介、各委員より一言ずつ挨拶) |
| 3 委嘱状交付 | (教育長より代表して委嘱状交付)
・ 任期は平成31年3月20日～平成33年3月19日 |
| 4 委員長・副委員長選出 | |
| 事務局 | ・ 当該委員会設置要綱により委員長、副委員長は互選により選出されることを説明。
・ 委員長に木村宗慎委員、副委員長に廣瀬孝子委員を選出。 |
| 5 議事 | (議長による議事進行) |
| (1) 報告・説明事項について | |
| ①宇和島市立伊達博物館の現状について | |

事務局

- ・現在の博物館は昭和49年に開館し、築45年になるため老朽化が進み、大地震に対する耐震性もない。
- ・収蔵庫が狭く、新規資料の受け入れが限界になっている。また、会議室もなく不便である。
- ・機械室が地下にあり、大雨の度に浸水をしている。その他の設備についても老朽化しており、文化庁より抜本的な対策を講じるよう指摘を受けている。
- ・企画、展示の工夫により、入館者数は横ばいを維持している。歴史文化の継承だけでなく、教育や観光にも考慮した博物館にしていきたい。

②宇和島市立伊達博物館建て替えについて

事務局

- ・先進事例では、博物館や美術館等の建て替えは基本構想、基本計画を策定し、それらに基づいて設計をする手法がとられている。当該事業についても同様の方法を進めたい。
- ・基本計画策定においては、次の事項を検討する必要がある。

①立地について

建設場所について、現地で建て替えるのか移転するのか、双方のメリット・デメリットを要件整理して決定したい。

②複合施設について

財源的な事情により複合施設として改築することを前提としており、こういった施設や機能を複合させるべきか、博物館との親和性や効果性を追求したい。

③展示テーマについて

現博物館では、宇和島伊達家の資料を中心に展示しているが、旧3町と合併したこと等も踏まえて、より総合的な郷土史や地場産業、あるいはゆかりのある著名人等を含めた展示テーマを模索したい。

④設備について

博物館には専門的な設備が必要とされ、温湿度管理や防虫対策は必須である。また展示ケースや収蔵庫の大きさの検討やセキュリティ対策等、最新鋭の設備機能を研究したい。

⑤サービスについて

博物館は観光施設としての役割もあるため、交通アクセスや体験型学習、また買物、飲食機能等、来館者が快適に楽しむことのできるサービスのあり方を検討したい。

- ・これらの検討課題については、必要に応じて専門部会を設置し、集中的に協議研究していく。
- ・基本計画策定後においては、新館の運営方法や、新館名称なども検討していく必要がある。

③建替委員会及び専門部会のスケジュールについて

事務局

- ・平成31年度中に基本構想、基本計画を策定する。
- ・平成31年度中は建替委員会を5回開催する。専門部会は必要に応じて別途、数回開催する。
- ・着工及び竣工のスケジュールは今後の計画によって流動的であるが、枯らし期間（建築資材からの化学物質が収まる期間）が必要なため、現段階では5年後の新館オープンを想定している。

A委員

- ・専門部会というものが想定されているが、これは通常の手法か。

事務局

- ・先進事例においても本委員会同様の検討組織は設けられているが、この専門部会というものは独自性が高いものである。

A委員

- ・多くの専門部会が想定されていて、運営が大変ではないか。
- ・立地と複合施設は一つではないかと思えるし、展示と設備もリンクしている。
- ・検討項目は適当だと思うが、事務局の見解を伺いたい。
- ・予算措置のスケジュールについても、今後提示されたい。

- | | |
|-----|--|
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門部会の主目的は、検討のための人選が柔軟に図れることにある。 ・ 検討課題はそれぞれあるが、それに対する専門部会の設置については委員会の専決であるので、協議願いたい。 |
| B委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門部会のメンバーは、建替委員以外も入るのか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ご指摘のとおり。 |
| C委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ここにいる建替委員が専門部会に振り分けられるのか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門部会はあくまで委員会を補足する位置づけであり、必ずしも委員が専門部会に参加する必要はない。 ・ 各専門部会に委員が参加するかどうかは、その都度、各委員に意向を確認する等の工夫をしていく。 |
| C委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門部会員の構成は検討してあるか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 現段階では専門部会が設置されていない。 ・ 協議により専門部会が設置され、専門部会長が指名されれば、専門部会長と相談しながら人選を図っていく。 |
| C委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 責任を持って委員を引き受けているので、私どもも携わった形で決定したいと考えるが。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門部会は、委員会から諮問を受け、協議研究し答申する役割である。したがって専門部会では決定しない。 |
| C委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門部会が結論を出すのではなく、要件を整理し、建替委員会が決定する役割であるとの認識でよいか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ご指摘のとおり。 |
| D委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門部会が多すぎて混乱するが、検討事項を先に決めておいた方が良いのではないか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 先ほどの専門部会の説明は、あくまで事務局案である。 |

- | | |
|-----|--|
| D委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの検討課題をまとめて専門部会を設置してはどうか、との提案でもあったのだが。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・委員会でそのように判断されたら、それに沿って運営していく。 |

(2) 協議事項

①基本構想（事務局案）について

- | | |
|-----|---|
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・先進事例を参照し、当館独自の事情を踏まえ基本構想（事務局案）を作成した。これに加筆修正を願いたい。 ・次回の委員会で基本構想（案）をまとめ、パブリックコメントを経て、7月には策定したい。 |
| E委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本構想の中に床面積の記載があるが、決定事項か。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・あくまで事務局案であり、決定事項ではない。 ・基本構想の段階では「十分な広さ」等の表現にとどめておく方法もある。 |
| E委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・予算の検討は。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・現状、何も決まっていない状態では試算ができない。 ・今後の基本計画策定において、コンサルタント会社の協力も得ながら積算していく。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・寄せられた意見を集約し、次回の委員会で紹介する形になる。閉会後でも構わないので、各委員の考えを聞かせ願いたい。 |

②専門部会の設置について

- | | |
|-----|--|
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・早急に建設場所と複合させる施設を決めなければならない。この課題についての専門部会設置の可否を協議願いたい。 |
| F委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・立地と複合施設を別々に考えている、事務局のとらえ方を説明して欲しい。 |

- | | |
|-----|---|
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・整理する要件が異なるので、別々の部会として想定した。 ・ご指摘のとおり、密接に関係し合う課題でもあるので、統合して専門部会を設置するという判断なら、それに沿って調整していく。 |
| D委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・先述したが、立地と複合施設は一体となった課題である。 |
| G委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・D委員に賛成する。それぞれの部会をまとめていけるのか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・検討すべきことは多岐にわたっており、それぞれに応じて専門部会設置を事務局案として提示したに過ぎない。 |
| B委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・D委員の考え方に賛同する。それぞれの部会での検討をどこで統合するのか、という問題も発生する。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・委員会において統合すると認識している。 |
| B委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの段階で統合しなければ効果的ではない。検討の結果だけを委員会に提案されても判断が難しいのではないか。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・立地と複合施設と検討するための部会を統合して設置することについて、賛成の方は挙手を願います。 <p>→全会一致により「立地複合施設」部会を設置。</p> |

③専門部会長の指名について

- | | |
|-----|---|
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・専門部会長の指名について、事務局案はあるか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・立地の条件整理については関係法令等の熟知が必要である。 ・複合施設の要件についても補助要綱の精査が必要である。 ・以上を勘案して、教育長でもある金瀬委員にお願いしたい。 |

(3) その他

- | | |
|-----|--|
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・全体をとおして、何か質問はないか。 |
| C委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・今回は「伊達博物館」の建て替えなのか。 |

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の協議次第による。例えば、総合博物館化を目指す方向になったら新博物館の名称も検討事項になってくる。 ・現段階では便宜上「伊達博物館改築事業」としている。
C委員	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金との兼ね合いはどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の博物館単体での建て替えに対する補助制度はない。 ・ただし、複合施設化することにより補助対象となる制度があるので、その活用を前提にしている。
C委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の伊達博物館にプラスアルファ、となったときに、博物館機能より、複合機能の方が大きな役割を果たす可能性はあるか。 ・新しい複合施設の一部に伊達博物館がある、といった可能性もあるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の可能性はある。 ・他の事業名称も検討したが、混乱を来しかねないこと、現在の「伊達博物館」の建て替えは急務であること等から、先述のおりの事業名とした。
C委員	<ul style="list-style-type: none"> ・単に博物館の建て替えをイメージしていた。 ・「伊達」という看板が残るのか、それとも新施設の一部となるのか、大きなテーマの一つになってくることから、今後の重要課題として認識したい。
B委員	<ul style="list-style-type: none"> ・補助対象となる複合施設の要件は何か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局においても整理中であり、次回の委員会において説明したい。
B委員	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビのニュースで、合併債を使って色々な施設を建設し、維持費が大変になっている特集が放送されていた。補助金のために、ゆがんだものになるイメージもあるので、しっかり精査していきたい。

H委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旅先の博物館では、見て、触って、体験できる施設があった。 ・ 子どもたちに喜ばれる施設を複合できれば効果的ではないか。 ・ 楽しく、未来につなげられる博物館が理想である。
I委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各委員が、それぞれの立場から、多様な意見を持ちよることが重要である。 ・ 建て替わるのであればこういった博物館になってほしい、こういう役割を担ってほしい、というイメージを持ちたい。 ・ 言い換えれば、今の博物館に無いものを考えたい。 ・ 「閉じた博物館」ではなく、市民の楽しみとなり、生活を彩る空間になることが理想である。 ・ 市町村合併を踏まえ、幅広い切り口を基本構想の中に考えていきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月中をめどに、各委員からの意見を徴集したい。 ・ 団体を代表する委員については、各所属での考えを反映していただきたい。 ・ 第2回委員会については5月下旬の開催を予定している。
6 閉会	
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以上をもって、第1回宇和島市立伊達博物館建替委員会を閉会する。